



玉附を巣立った先輩方～大きな翼で世界に羽ばたく～

「危機感をもって勉強を」 大河内さん（1期生）



私は今、大阪大学基礎工学部で情報科学を学んでいます。情報科学は主にコンピューターを扱う学問のことです。プログラミングはもちろん、将来的には人工知能（AI）の発展に携わることのできる面白い学問だと思っています。レベルの高い仲間と出会い、たくさんのことを勉強しています。現在は、大学院への飛び級を見据え、受験勉強をしています。高校生の頃から「早く社会に出たい。就職したい。」という思いと、「しっかり研究をしたい。」という思いがあって、この考えに至りました。

皆さんは、勉強はもちろんですが、部活動など何か打ち込めるものをひとつ持っていてほしいと思います。私は中学校でサッカー部に所属していました。入部した直後、一年生だけで中体連に出場して、0-23で完敗しました。苦いけど良い思い出です。相手が上級生ばかりの苦しい戦いが続く中で、努力することの大切さを学ぶことができました。勝つためには何が必要か、チームとの連携はどうしたらいいかを考え、練習を重ねに重ね手に入れた初勝利は、本当にうれしかったです。今振り返れば、このような努力は一生ものだと感じます。皆さんの多くが控えている大学受験でも、自分との戦いや仲間と乗り越えることは必須です。大学に入ってから、卒業論文やゼミもあり、その中で大きな壁が立ちはだかることもあります。それを乗り越えるためには、何でも良い、何か努力してやり遂げる経験が大きな蓄えになると思います。

また、中学校で気を付けていたのは、周りの中学校にもライバルがいるということです。附属中は高校受験なしで進学できます。楽です。しかし、見方を変えればそれは「油断の種」です。勉強を怠っていると、受験してきた人たちにあつという間に抜かれるかもしれません。危機感をもって勉強する習慣を身につけてほしいです。中学校、高校の生活はあつという間です。後悔の無いよう、自分の目標を作って頑張してほしいと思います。

「～附属中～世界に羽ばたく素地を作る場」 多田隈さん（3期生）

私は、今年の9月からカナダのバンクーバーにある University of British Columbia という大学に進学します。附属中学校に入学して経験した様々な体験が、私がこの決断をすることへ導いてくれたと思います。

中学1年のときに英語暗唱大会に初めて出場しました。他校のレベルの高さに圧倒され、ロボットのように固まったのを覚えています。また、中学三年の時参加したカナダの研修では、英語が得意だと思い込んでいた私は、ほとんど自分の気持ちを英語で現地の人に伝えることができず、一日目で自信喪失。

しかし、これらの経験はその後の私の成長の糧となりました。英語暗唱大会は、1年後にリベンジ。地区大会で最優秀賞を取ることができました。カナダの研修では、悔しいままでは帰れないと思い、めげずに積極的にコミュニケーションをとり続けました。日本に帰ってからホストシスターと話すうちに、自分が言いたいことを英語で伝えることができるようになりました。

このような中学生活から、大学の4年間でも、自分のやりたいことにチャレンジして、最大限に成長できる環境で過ごしたいと思うようになり、海外の大学に進学することに決めました。

これからの4年間の大学生活では、文化人類学を学ぼうと思っています。様々な文化が混在するカナダで、机の上だけではなく、実際に多文化を肌で感じながら、世界の文化や人々のルーツについて勉強をしたいと考えています。大学生活を通じて価値観を広げ、知識やスキルだけでなく、想像力や応用力、コミュニケーション能力をもったグローバルな人になりたいです。

最後に、これから附属中へ進学する皆さんには、何事にも積極的にチャレンジしてほしいと思っています。ラッキーなことに、附属中には、皆さんがチャレンジできる場があり、全力でサポートして下さる先生がたくさんいらっしゃいます。互いに切磋琢磨できる仲間がいるのも附属中の魅力のひとつです。始めの一步。附属中であなたの可能性を高めてみませんか。世界の舞台で会えることを楽しみにしています。



8/2(金)は、第1回学校説明会 オープン・スクール2019です。卒業生からメッセージをいただきましたので、一足早く、ご紹介します。 2019.7.17 副校長 山部

「玉高附中通信WAKAGOMARU」は、玉名高校・玉名高校附属中学校ホームページに掲載しています。

URL : <http://sh.higo.ed.jp/tamana/>